

## こども学科

## こどもの指導法「言語表現」

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	宮崎麻子			実務経験	無	職種					

## 授業概要

保育所保育指針等を踏まえ、絵本・昔話・遊び歌といった児童文化・子ども文化への理解を深める。絵本・物語とは何か、その役割や意義などを学ぶ。その上で、子どもをとりまく社会・文化の状況や内包する問題を検討しながら、子どもがすこやかに主体的に育つことを学び、考える。

## 到達目標

絵本、童謡、劇遊びなど保育現場で使用される児童文化財の持つ意義が理論的に理解できるようになる。子どもの感性・表現力を引き出し、豊かに育てるための実践力を獲得する。子どもが出会う児童文化財の鑑賞・再体験を通して、受講者自身の想像力や感性を磨き、子どもに寄り添う保育者としての基盤を構築する。

## 授業方法

講義中心ではなく、学生が主体の授業となる。保育所保育指針等で、子ども自身が考えや思いを言葉によって他者に伝える力を育むことを重視している点を踏まえ、言語表現に関する教材の作成、保育の環境構成、指導案作成の技術習得を目指す。

## 成績評価方法

授業態度・レポート・期末試験を総合して評価する。

## 履修上の注意

積極的な授業参加が必須の授業である。  
絵本や遊びうたなど、こころを柔らかくして楽しむ。  
自分の子ども時代を思い出しながら、「子ども」について考えを深める。

## 教科書教材

レジュメや資料を適宜配布。

回数	授業計画
第1回	子どもと文化のかかわり：意義・歴史・内容・文化活動
第2回	絵本概説（子どもと絵本・歴史）、ブックスタートの活動・赤ちゃん絵本
第3回	絵本の種類：バリアフリー絵本・しきけ絵本

第4回	絵本の種類：知識絵本
第5回	物語の多様性
第6回	昔話と遊び歌、口承文芸と現代のわらべうた
第7回	伝統文化：折り紙・五節句・人形劇
第8回	授業の振り返りとまとめ、期末試験